

高齢者が少なくないとみられる。こうした中で、一部の地域では、コミュニティバス、旧小学校校舎での商店開設、NGOなどによる移動販売サービスのような取り組みも広がっている。このような取り組みも含め、まちづくりや地域の支え合いなど高齢者が暮らしやすい生活環境の整備が重要な課題となっている。

在宅で利用できる「宅配サービスやネット販売の利用」(2.0%)は極めて低く(図1-3-10)、この利用状況を同居形態別に見ると、男女ともに二世帯世帯(親と同居)においては他の同居形態と比較して利用者の割合が際立って高い。自宅における介護等何らかの事情により在宅する必要の高い環境下に置かれた際に、限定的に利用が広がっているようにも推測される(図1-3-16)。

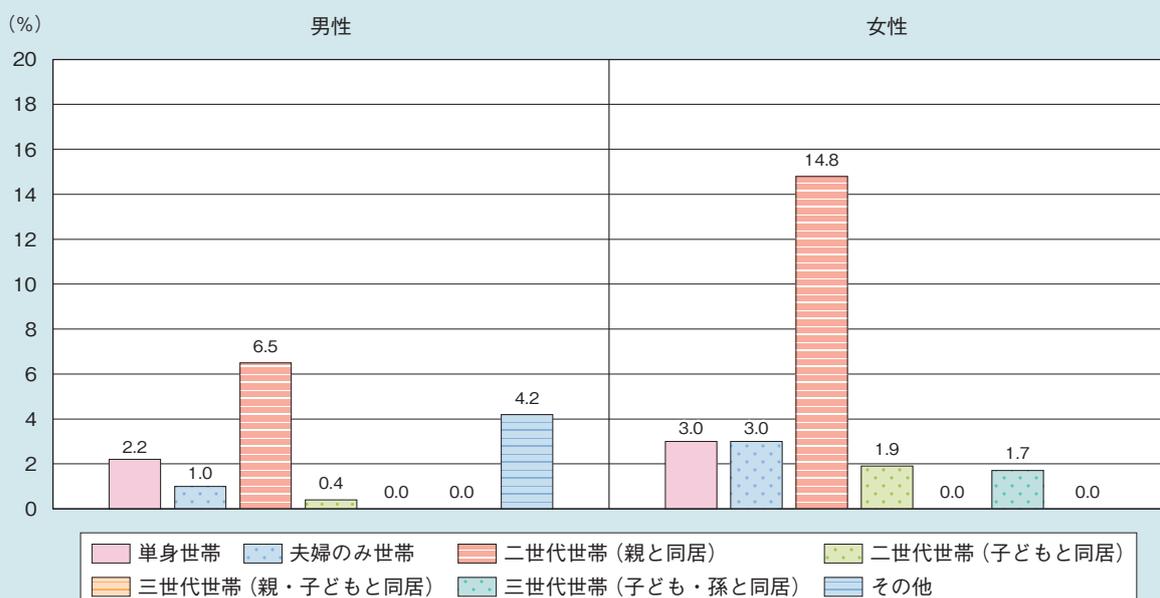
③ 社会的な貢献活動への参加

(1) 現在、社会的な貢献活動に参加している人は約3割

就労や趣味、社会貢献等、高齢者の活動については、様々な内容が考えられるが、ここではグループや団体、複数の人で行っている社会や家族を支える「社会的な貢献活動」(ただし、活動内容が社会や家族を支える活動であっても、単なるご近所づきあいによるものは含まない)について、調査を行った。「社会的な貢献活動」は、豊かな地域づくりにつながる活動として期待されるほか、他の社会的な活動などと同様に、介護や認知症の予防、生きがい創出といった高齢者自身による影響をもたらすことが考えられる。

現在、何らかの社会的な貢献活動に参加しているとの回答の合計は約3割(図1-3-17で「特に活動はしていない」と回答した者を除いた計)となっている。

図1-3-16 日常の買い物の仕方(択一回答で宅配サービスやネット販売を利用していると回答した者の割合)(同居形態別)



参加している活動は、「自治会、町内会などの自治組織の活動」(18.9%)、「趣味やスポーツを通じたボランティア・社会奉仕などの活動」(11.0%)が多い(図1-3-17)。

(2) 社会的な活動をしていてよかったことについて、「新しい友人を得ることができた」や、「地域に安心して生活するためのつながりができた」が多い

社会的な活動(最も力をいれている活動)をしていてよかったことを尋ねたところ、全体では「新しい友人を得ることができた」(56.8%)

や、「地域に安心して生活するためのつながりができた」(50.6%)が5割台で高い。

それに続いて、「社会に貢献していることで充実感が得られている」(38.2%)、「健康維持や身だしなみにより留意するようになった」(32.8%)が多い(図1-3-18)。

(3) やってあげばよかったと思う事項では、「健康維持のための食生活への配慮や体力づくりのための運動をすること」や「知識・技能を習得すること」が多い

今よりもっと活躍するために60代になる前

図1-3-17 社会的活動(貢献活動)の実施状況(複数回答)

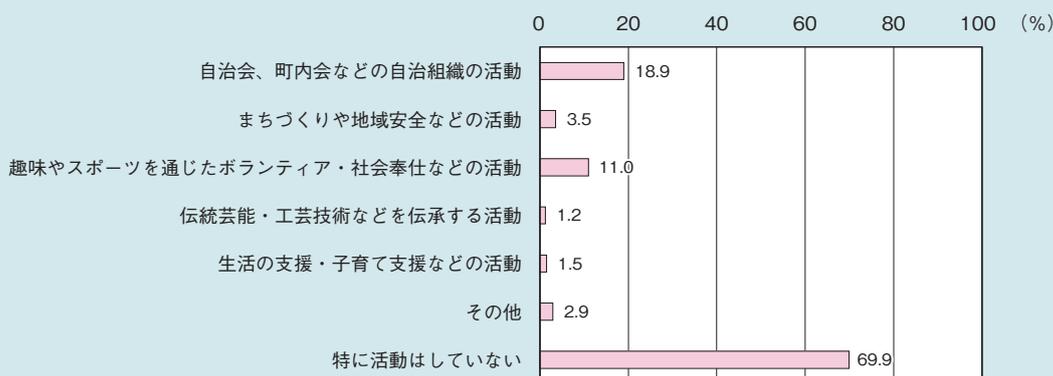


図1-3-18 社会的な活動をしていてよかったこと(複数回答)



(注1) 回答条件は社会的な活動をしている者

(注2) 複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動について回答している。

からやっておけばよかったと思うことは何かと尋ねたところ、「やっておけばよかったと思うことはない」との回答が全体では52.6%、社会的活動に参加していると回答した人では43.5%といずれも最多であったが、社会的活動に参加していると回答した人の方が低かった。やっておけばよかったと思う事項では、「健康維持のための食生活への配慮や体力づくりのための運

動をすること」や、「知識・技能を習得すること」が多かった。

また、社会的活動に参加している人は、「社会活動・地域行事に参加すること」(11.1%)や、「自治会・町内会等の自治組織に参加すること」(9.2%)といった地域における活動への参加を挙げた者が、全体に比べ、高い傾向にあった(図1-3-19)。

図1-3-19 60代前からやっておけばよかったと思うこと(複数回答)

